

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【いのちの教育】</p>	<p>4年生が親子学習会で「いのちの教育」を行った。いのちの大切さに関する講話や、妊婦体験・赤ちゃん人形の抱っこ体験を実施した。保健師さんをお招きして、保護者とともに生命の神秘やいのちの尊さについて学習した。</p> <hr/> <p>成果 人の誕生の仕組みや、思春期に起こる具体的な体や心の変化について、助産師から実際にお話を聞くことができた。この世に生まれ、今成長している一人一人が奇跡であり、大切な存在であることを知ることができた。 学習後のアンケートの結果、命の大切さや親の願い、誕生した時の周囲の喜びなどを知り、自尊意識を高めるとともに自分や自分以外のまわりの人を大切にしようとする心を育てる機会となった。</p> <hr/> <p>課題 道徳や特別活動を通じて、人権意識を高め、学習したことを実践する態度を育成していきたい。また、家庭との連携を図るために、次年度も親子で実施できるよう計画したい。</p>
<p>2 実践2 【人権集会 (ハッピースマイル大作戦)】</p>	<p>いじめのない学校・楽しい学校を目指した全校集会活動「ハッピースマイル大作戦」を運営委員会が企画・運営して行った。各クラスで取り組む目標として「人権スローガン」を話し合い、全校集会で発表した。また、スローガンに関しては、児童一人一人が具体的行動目標を記入したものをクラスごとにまとめ、掲示した。</p> <hr/> <p>成果 運営委員会を中心に、いじめについて考えることができた。実際の事例を挙げながら、「自分ならどうするか」と、自分事として考える場を作ることができた。 また、各学級では「いじめ」をテーマに話し合い、スローガンを作成した。そして、集会でスローガンに込めた思いを含め発表できた。 さらに個人でも、自分ができていることをハート型のカードに書き、学級ごとにラシャ紙（「ハートいっぱい」）に貼って掲示することができた。</p> <hr/> <p>課題 具体的な目標設定ができたので、今後も人権意識を高められるよう、計画的・継続的に教育活動全体を通して指導をしていく必要がある。</p>